

# 第七回 全国幼稚園施設研究会の報告

玉 越 三 朗

昨年十一月六日、七日の二日間大分市に

おいて第七回全国幼稚園施設研究会が開催された。この研究会は例年好天に恵まれていたが、今年は特に珍らしい秋晴れ続きで北海道から鹿児島まで全国から参集した八百余名の参加者が熱心に研究することができた。ことに会場の大分市立金池小学校・同幼稚園、荷揚小学校・同幼稚園、春日町小学校・同幼稚園、南大分小学校・同幼稚園、長浜小学校・同幼稚園が大分市教育委員会の教育長をはじめとする全員および全市の幼稚園の諸先生、さらに大分県教育委員会・大分大学・大分県幼稚園長会の諸先生の協力によって周到な準備がなされていたので、実に研究に適したよい環境であつて多大の成果を収めることができた。

研究会は、実地保育、分科会研究、研究発表、講演に分かれておこなわれたが、いずれも一貫した計画のもとに充実した内容であつた。

次にそれらについて少し述べてみよう。

## △実地保育

この実地保育はこの種の大会における今後の実地保育に大きな示さを与えるものであると思われた。従来とかく研究会では、(1)実地保育をおこなわないでたんに協議や講演だけであつた。(2)たとえおこなつたとしても分科会には関係なくおこなつていた。(3)一学級か二学級が代表的におこなわれていたことがほとんどであつたが、この研究会では、従来の方法をやぶり分科会と関連づけておこなうようにし、しかも実地保育が分科会の研究の糸口となつてしげんに分科会に進んでいくように計画され実践された。また各幼稚園の全学級が実地保育したことである。

## △分科会研究

六分科会に分れて研究がおこなわれた。第一分科会は「園舎設計のし方」の主題のもとに、指導者として文部省建築指導課

川崎正敬氏、大分市技師 那賀賢司氏、大分県技師 斎藤武男氏、司会者として千葉大学付属幼稚園長 宮内 孝氏、神戸市立楠幼稚園長 中谷久子氏、大分県佐伯市立東幼稚園長 柴田寿雄氏が当つて研究協議がおこなわれた。研究協議は会場園の荷揚幼稚園の新築園舎設計計画案を中心として、主として (1)園舎の位置を決定する際考慮しなければならぬ点はどんなことか (2)教育課程から考えた場合どんな点に注意する必要があるか (3)建築上から考えた場合どんな点に注意する必要があるかなどの観点から検討された。

第二分科会は「施設、設備維持改善の方法」の主題のもとに、指導者として文部省助成課 菅野 誠氏、大分県教育委員会指導主事 佐藤時金氏、同古庄 昇氏、司会者として埼玉県浦和市学校法人麗和幼稚園長 中島 修氏、大分県九重町立明倫幼稚園長 帆高逸雄氏が当つて研究協議がおこなわれた。研究協議は幻燈などによつて実際に維持改善の結果の発表を中心としておこなわれ、主として (1)保育室の改善はどのようなしたらよいか (2)水のみ場、手洗場などの維持の方法と改善はどのようにしたらよいか (3)紙芝居、幻燈などの取り扱い方や保管のし方はどのようにしたらよいか、に

ついておこなわれた。

第三分科会は「健康に必要な施設、設備とその活用方法」の主題のもとに、指導者として文部省建築指導課長 小野 弘氏、大分大学付属小学校 挾間松男氏、大分県教育委員会 齋藤正人氏、司会者として名古屋市立第一幼稚園長 渡辺ナホ氏、大分県日出町立真那井幼稚園長 佐藤勝美氏が当って研究協議がおこなわれた。研究協議は分科会場の南大分幼稚園で実際に備えて活用した結果や参加者が持ち寄った資料などを中心として、主として(1)低鉄棒、ぶらんこ、すべり台などの運動用具の備えかたと活用のしかた (2)医療器具や材料の備えかたについておこなわれた。

第四分科会は「音楽リズム指導に必要な教具の備えかたと活用の方法」の主題のもとに、指導者として文部省初等教育課 玉越三期、大分大学講師 野中田鶴氏、大分県市教育委員会学校教育課長 田坂 保氏、司会者として中津市立南部幼稚園長 真浄一雄氏、岡山県瀬戸町立千種幼稚園長 小長 整氏、徳島市立内町幼稚園長 伏見童子氏が当って研究協議がおこなわれた。研究協議は実地保育の状況から (1)リズム楽器の備えかたと活用のしかた (2)蓄音機、ラジオ、テープレコーダーの活用のしかた

を主にして参加者の豊富な経験の発表を中心として進められた。

第五分科会は「自然に必要な教具の備えかたと活用の方法」の主題のもとに、指導者として大分大学付属小学校 草野重美氏、大分市教育委員会指導主事 高田恵夫氏、司会者として岐阜市立加納幼稚園長 安藤清氏、大分県日出町立日出幼稚園長 阿部武夫氏が当って研究協議がおこなわれた。研究協議は主として(1)飼育栽培用具の備えかたとその活用のしかた (2)磁石、虫めがね、科学玩具などの備えかたとその活用のしかたについておこなわれたが、参加者の経験を中心として活発に研究が進められた。

第六分科会は「P・T・Aの施設、設備充実に協力する方法」の主題のもとに、指導者として文部省指導課 田中正義氏、大分県教育委員会指導主事 釘宮 静氏、大分県教育委員会社会教育課 松沢美作氏、司会者として観音寺市立観音寺幼稚園長、松木ゆきの氏、別府市立北幼稚園長 荒島士金氏、大阪市常磐会幼稚園 佐藤富子氏が当って研究協議がおこなわれた。

#### △研究発表

研究発表は、次の三幼稚園が長年幼稚園全体で研究を進めてきたものを映画や幻燈

に収めて発表されたのであるが、いずれもその豊富な研究と適切な研究の進め方には参会者会長が大きな感銘を受けた。

1. 幼稚園の施設、設備の改善が保育内容にどのように影響を与えたか。

(浦和市 学校法人麗和幼稚園)  
2. 自然の指導を適切におこなうには、目標をどのようにおさえ、どんな内容や方法をういたらよいか。

(岐阜市立 加納幼稚園)  
3. 教具を生かした音楽リズム指導の導入のしかた。(徳島市立 内町幼稚園)

さらに地元教育委員会から、大分市における幼稚園の普及状況や経営などについて他市もうらやむような現状の発表があった。

4. 大分市立幼稚園の現状について  
大分市教育委員会総務課長 池見 喬氏  
なお、以上四つの研究発表および分科会で発表された内容は「施設研究第七号」(フレイベル館で分けて)に詳細に述べられているのでここでは省略する。

#### △講演

九州大学医学部長遠城寺宗徳氏の「幼児の健康管理」について幼児の指導者としての心構えが実に適切に述べられた。